

生態影響に関して新たに収集した有害性情報

三 監 No.	指定名称	分解性	ばく露クラス	アミン類	魚類						ミジンコ						藻類					
					急性毒性 96hr-LC50	化審法 信頼性ランク	出典	慢性毒性 NOEC	化審法 信頼性ラン ク	出典	遊泳阻害 48hr-EC50	化審法信頼 性ランク	出典	繁殖阻害 NOEC	化審法信頼性 ランク	出典	生長阻害 72hr-EC50	化審法信頼 性ランク	出典	生長阻害 NOEC	化審法信頼 性ランク	出典
160	ジクロロメタン	良	2	0	220	2	A:⑪	82.5	2	A:⑦	220	2	A:⑪	×	—		> 662(96hr)	2	A:⑨	×	—	
161	クロロホルム	良	3	0	1.24-2.03	1	A:①	2.6	2	B:①-1	79	2	A:⑦	6.3	2	A:⑩	13.3	2	A:⑥	0.059	2	A:⑦
162	プロモetan	良	4	0	0.3	1	A:①	0.32	2	A:⑨	2.6	1	A:④/A:⑤	×	—		×	—		×	—	
164	1,3-ジクロロプロベン	良	4	0	0.068	1	A:①	0.24	2	A:⑪	1.2	1	B:①-1	0.09	1	B:①-1	2.1	2	B:①-1	0.0059	2	B:①-1
166	3, 6, 9-トリアザウンデカン-1, 11-ジアミン(別名テトラエチレンペンタミン)	難	4	1	420	2	A:⑤	×	—		13	保留	B:①-1	0.14	保留	B:①-1	0.043	1	A:①	0.018	保留	B:①-1
172	ジメチルジチオカルバミン酸の水溶性塩	難	5	0	2.6	2	A:⑥	×	—		0.67	1	A:①	×	—		×	—		×	—	
173	チオ尿素	良	3	0	> 110	1	B:①-1	×	—		9	1	A:①	1.8	1	B:①-1	> 100	1	B:①-1	32	1	B:①-1
176	テトラエチルチウラムジスルフィド(別名ジスルフィラム)	難	4	0	×	—		×	—		0.12	1	A:①	×	—		×	—		×	—	
180	ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)N,N'-エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛)		4	0	0.91	1	A:①	×	—		×	—		×	—		×	—		×	—	
183	2,2-ジプロモ-2-シアノアセトアミド	良	5	0	0.55	1	A:①	0.98	1	A:④	0.9	2	A:④	×	—		×	—		×	—	
184	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	難	1	0	9.22	1	A:①	×	—		×	—		×	—		×	—		×	—	
187	N, N-ジメチルアニリン	難	5	1	53.7	2	A:⑩	×	—		5	1	A:①	×	—		×	—		×	—	
232	メチレンビス(4,1-シクロヘキシレン)=ジイソシアネート		5	0	1.2	1	A:①	×	—		×	—		×	—		×	—		×	—	
233	ナフタレン	難	3	0	0.11	1	A:①	×	—		3.4	2	A:⑧	3	2	A:⑧	×	—		×	—	
238	ジシクロペンタジエン	難	4	0	4.3	1	A:①	×	—		4.2	2	A:⑦(D. pulex)	3.2	2	A:⑤/A:⑦	×	—		×	—	
247	メチル=ベンゾイミダゾール-2-イルカルバマート(別名カルベンダジム)	難	5	0	0.41	1	A:①	0.034	2	A:④	0.35	1	A:④	0.0066	1	A:④	×	—		×	—	
264	シクロヘキサ-1-エン-1, 2-ジカルボキシイミドメチル=(1RS)-シーストランス-2, 2-ジメチル-3-(2-メチルプロパ-1-エニル)シクロプロパンカルボキシラート(別名テトラメトリン)	難	4	0	0.0037	1	A:④	×	—		0.045	1	A:④	×	—		×	—		×	—	
274	アクリル酸ノルマル-ブチル		1	0	2.4	1	A:②	×	—		5.2	1	A:②	1.0	1	A:②	5.28	1	A:⑤	0.077	1	A:①
275	N,N-ジシクロヘキシルアミン		5	1	12	1	A:②	×	—		8.0	1	A:②	0.049	1	A:①	> 19	1	A:②	2.0	1	A:②
276	りん酸トリトリル		4	0	0.84	2	A:②	×	—		0.25	2	A:②	0.1	1	A:①	×	—		×	—	

信頼性確認を必要としない出典A:「生態毒性に関する有害性情報の信頼性確認方法について」での3.1(1)の有害性情報

- ① 化審法において審査済みの有害性情報
- ② 環境省(庁)等、国が実施した生態影響試験結果のうち、既に毒性値の信頼性確認がされているもの(生態リスク初期評価での信頼性が確認済みの有害性情報等)
- ③ 農薬取締法 水産動植物登録保留基準設定に用いられた有害性情報で、指定試験法の条件を満足するもの
- ④ 米国環境保護庁(US EPA) Pesticide Ecotoxicity Databaseに登録された有害性情報
- ⑤ 経済協力開発機構(OECD) 高生産量化学物質(HPVC)プロジェクト「SIDS」(Screening Information Data Set)に登録された有害性情報
- ⑥ 欧州連合(EU)「IUCLID」(International Union Chemical Information)に登録された有害性情報
- ⑦ 環境省 化学物質の環境リスク評価(生態リスク初期評価)で有害性情報の信頼性が評価された毒性値
- ⑧ EUリスク評価書で信頼性が評価された有害性情報
- ⑨ 独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質の初期リスク評価書に採用された有害性情報
- ⑩ 欧州産業界ECETOCの水生生物毒性データベース(ECETOC Aquatic Toxicity: EAT)に登録された有害性情報
- ⑪ 環境保健クライテリア(EHC)に採用された有害性情報
- ⑫ 国際簡潔評価文書(CICAD)に採用された有害性情報
- ⑬ JAPANチャレンジプログラムで取得された有害性情報

信頼性確認を必要とする出典B:「生態毒性に関する有害性情報の信頼性確認方法について」での3.1(1)及び3.2(2)の有害性情報の収集範囲

- ① 国内外の政府機関等で生態影響試験が実施されているが、信頼性に関する確認がされていない
  - 1 環境省生態影響試験事業で信頼性の確認がされていない有害性情報
  - 2 濃縮度試験予備試験での有害性情報 等
  - 3 既存点検で審査が実施されていない有害性情報
- ② 国内外の政府機関等から有害性情報は公表されているが、信頼性に関する確認がされていない又は確認されているか不明
  - 1 カナダ環境省/保健省Assessment Report Environment Canada: Priority Substance Assessment Reports(優先物質評価報告書)
  - 2 Australia NICNAS Priority Existing Chemical Assessment Reports
  - 3 WHO/FAO Pesticide Data Sheets (PDSs)
- ③ 以下の生態毒性データベース等から得られる学術論文等での有害性情報。
  - 1 US EPA 生態毒性データベース「AQUIRE」(Aquatic toxicity Information Retrieval)
  - 2 OECD QSAR Toolboxに含まれる生態毒性データベース(Aquatic OASIS)

信頼性確認が必要で、有害性クラス判定に影響があるデータ

信頼性確認が必要だが、有害性クラス判定に影響がないデータ

## 生態影響に関して新たに収集した有害性情報

三監 No.	政令番号	指定名称	分解性	アミン類	暴露クラス	水溶解度 (mg/L)	生物群	毒性分類	和名	学名	毒性値 (mg/L)	GLP	テストガイド ライン	実 測	信頼性ラン ク(原著)	試験条件等					化審 法 信頼 性ラ ンク	出典等	発行 年	備考	
																エンドポイ ント	影響	試験期間 (d)	被験物質 (純度等)	供試生物 (齢、体長 など)					水温(°C)
161	1-127	クロロホルム	良分解性	0	3	7950 (25°C)	魚類	慢性毒性	メダカ	<i>Oryzias latipes</i>	2.6	○	OECD TG210	○		NOEC	成長	40	99.4	胚～稚魚	24.3～25.0	2	②環境省生態影響試験	2008	暴露 32 日目に濃度の供給装置の故障が発生し、試料を採取し分析した結果、通常の変動幅よりも高いと考えられる濃度上昇(顕著であった 10 mg/L 区で 17.7 mg/L。この値を除いた暴露期間中の平均値は 10.7 mg/L)が確認された。その直後の分析は行っていないものの、前日には供給系の異常はなく、当日の夕方には安定した供給へ戻したことから、少なくとも分析時よりも濃度が上昇することはなかったと試験機関は考えている。
164	1-179	1,3-ジクロロプロペン	良分解性	0	4	2800 (25°C)	甲殻類	急性毒性	オオミジンコ	<i>Daphnia magna</i>	1.2	○	OECD TG202	○		EC50	遊泳阻害	2	97.2	<24hr	20.1～20.5	1	②環境省生態影響試験	2000	
							甲殻類	慢性毒性	オオミジンコ	<i>Daphnia magna</i>	0.09	○	OECD TG211	○		NOEC	繁殖	21	97.2	<24hr	20.1～20.5	1	②環境省生態影響試験	2000	
							藻類	急性毒性	緑藻類	<i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>	2.1	○	OECD TG201	○		EC50	生長阻害	3	97.2		23.0～23.1	2	②環境省生態影響試験	2000	
							藻類	慢性毒性	緑藻類	<i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>	0.0059	○	OECD TG201	○		NOEC	生長阻害	3	97.2		23.0～23.1	2	②環境省生態影響試験	2000	
166	1-276	3, 6, 9-トリアザウンデカン-1, 11-ジアミン(別名テトラエチレンペンタミン)	難分解性	1	4	6540000	甲殻類	急性毒性	オオミジンコ	<i>Daphnia magna</i>	13	○	OECD TG202	○		EC50	遊泳阻害	2	50.2	<24hr	20.1～20.5	保留	②環境省生態影響試験	1999	被験物質の他成分エチレンアミン類 48.5%、高濃度区が上昇
							甲殻類	慢性毒性	オオミジンコ	<i>Daphnia magna</i>	0.14	○	OECD TG211	○		NOEC	繁殖	21	50.2	<24hr	19.1～20.6	保留	②環境省生態影響試験	1999	被験物質の他成分エチレンアミン類 48.5%、高濃度区が上昇。換水頻度: 週に3日、全量交換、分析(0,2,7,9,14,16日目)
							藻類	慢性毒性	緑藻類	<i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>	0.018	○	OECD TG201	○		NOEC	生長阻害	3	50.2		22.0～23.1	保留	②環境省生態影響試験	1999	被験物質の他成分エチレンアミン類 48.5%
173	1-245	チオ尿素	良分解性	0	3	142000 (25°C)	魚類	急性毒性	メダカ	<i>Oryzias latipes</i>	>110	○	OECD TG210	○		NOEC	成長	40	99.3		23.5～24.7	1	②環境省生態影響試験	2003	限度試験
							甲殻類	慢性毒性	オオミジンコ	<i>Daphnia magna</i>	1.8	○	OECD TG211	○		NOEC	繁殖	21	99.3	<24HR	19.1～20.3	1	②環境省生態影響試験	2003	
							藻類	急性毒性	緑藻類	<i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>	>110	○	OECD TG201	○		NOEC	生長阻害	3	99.3		22.1～22.5	1	②環境省生態影響試験	2003	
							藻類	慢性毒性	緑藻類	<i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>	32	○	OECD TG201	○		NOEC	生長阻害	3	99.3		22.1～22.5	1	②環境省生態影響試験	2003	

水溶解度:米国環境保護庁 EPI suite ver4.0